

2050年カーボンニュートラル 実現に向けて、今始めること！



再生可能 エネルギー

『供給側』と『需要側』が
ともに行動変容を始める
ことが重要

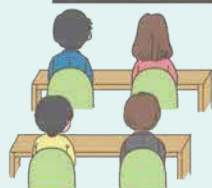
『供給側』の行動変容に向けて

供給側

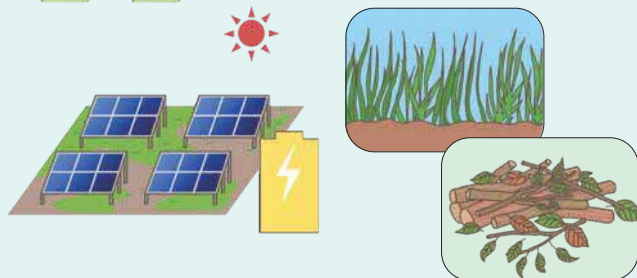
市内事業者に向けた啓発・情報発信を行い、再生可能エネルギーの意義や導入した際のメリットについて広く周知します。再生可能エネルギーに関わる市内事業者の増加は、地域産業の活性化につながります。再生可能エネルギー事業への参入や安定した運営のために、支援制度の創設や仕組みづくりを検討します。



本市が有する資源の有効活用や発電設備の設置場所などを検討し、再生可能エネルギーによる発電量の増加に向けた取り組みを始めます。



本市が所有する公共施設におけるエネルギーコストの削減に向けて、太陽光発電設備と蓄電池の設置を進め、電力の自家消費の割合を高めます。



需要側

『需要側』の行動変容に向けて

市民や市内事業者に向けた、啓発・情報発信を行い、再生可能エネルギーの意義や導入に向けた理解の促進を図ります。普段の暮らしや社会活動におけるエネルギーの価値観を再考することで、時代に適したライフスタイルや企業経営について考えるきっかけとします。

再生可能エネルギーを導入することによって得られる利益やメリットだけでなく、導入しなかった場合や普及が進まなかった際に私たちの生活にどのような影響が生じるかなど、情報発信に努めます。



再生可能エネルギーの導入によって、温室効果ガスの削減といった環境面の効果だけでなく地域振興、観光振興、防災力の向上など様々な効果が期待できるため、多方面から活用方法を検討します。



Challenge & Shift

これからも住みよい松江であるために
再生可能エネルギーに転換を！

再生可能エネルギーの取り組みによりSDGsの目標達成を目指します。



《お問い合わせ》

松江市 環境エネルギー部 環境エネルギー課

〒690-0826 島根県松江市学園南一丁目20番43号

TEL : 0852-55-5278 FAX : 0852-55-5497

E-mail : k-energy@city.matsue.lg.jp



松江市 / 再生可能エネルギービジョン



これからも住みよい松江であるために、再生可能エネルギーに転換を！



ビジョンの概要

背景

- 世界中で地球温暖化が主な要因と考えられる、災害の頻発や海水面の上昇などが発生し、各国で温室効果ガスの排出を減らすための行動が取られています。
- 国内では、再生可能エネルギーの最大限の導入や徹底した省エネルギーなど、民間や公共などあらゆる分野で脱炭素化に向けた取り組みが進められています。
- 本市は、2020年12月に「ゼロカーボンシティ」を表明し、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとすることを目標としています。

再生可能エネルギーを導入する意義

- 再生可能エネルギーの導入は、温室効果ガス削減等の環境改善に関する国際的（グローバル）な課題から、雇用の創出や地域の活性化等の地域（ローカル）の課題など、世界・国・地域が抱える様々な課題の解決につながります。

目的

- 松江市は、カーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギーの導入促進・普及を図り、エネルギーの構造転換を目指します。
- 本ビジョンでは、再生可能エネルギーの導入・普及に向けて、市民・事業者・行政の進むべき方向性を示します。

位置づけ

- 国や島根県のエネルギー政策および環境政策との整合を図り、再生可能エネルギーの導入を促進するための方向性を整理したもの。
- 「松江市総合計画(MATSUE DREAMS 2030)」 「松江市環境基本計画」の下位計画。
- 「松江市環境基本計画」の重点目標である脱炭素社会（カーボンニュートラル）実現のための個別計画。



計画の対象

- 松江市全域を本ビジョンの対象とします。
- 対象とする再生可能エネルギーの種類は、以下のとおり。

① 太陽光・風力・水力・地熱・バイオマス（※1）



② 水素・燃料アンモニア・海洋エネルギー（潮力・波力）（※2）

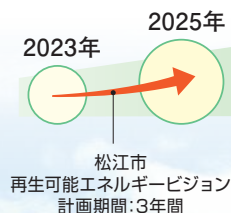
※1 再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第2条第3項に規定されたエネルギー

※2 長期的な視点から対象とするエネルギー

計画期間・目標年次

- 計画期間は、2023（令和5）年度～2025（令和7）年度の3年間。

- 目標年次は、国の温室効果ガス排出削減目標を踏まえて、短期目標を2025（令和7）年度、中間目標を2030（令和12）年度、長期目標を2050（令和32）年度とします。



2030年
温室効果ガス
排出量
46%削減（※）

2050年
温室効果ガス
排出量
実質ゼロ

※国の「地球温暖化対策計画」における削減目標。

再生可能
エネルギーを
導入促進・普及

再生可能エネルギーの導入を図るうえでの課題

課題
1

一般家庭への再生可能エネルギー導入・普及が進まない

- 再生可能エネルギー設備の設置費用の負担が大きい
- 情報発信や学習機会が不足している

課題
2

再生可能エネルギーに取り組む事業者が少ない

- 再生可能エネルギー設備の設置費用の負担が大きく、事業を行ううえでハードルが高い
- 情報発信や学習機会が不足している

課題
3

本市が有するポテンシャル・再生可能エネルギー資源を活かしきれていない

- 建物・土地などの有効活用が必要
- 自然資源の有効活用が必要
- 再生可能エネルギー資源のリユース・リサイクルが必要

〈基本理念〉

松江らしい再生可能エネルギーの創造

Challenge & Shift

再生可能エネルギーを中心とした
「松江らしい」エネルギー政策に

「チャレンジ」

カーボンニュートラルの実現に向け
持続可能な社会に

「シフト」

本市は、「2050年カーボンニュートラル」を実現すべく、再生可能エネルギーを積極的に導入していかなければなりません。そのためには、化石燃料への依存低減とエネルギー構造の転換について、深い理解と強い意欲を持って取り組んでいく必要があります。目標の中間年としている2030年には一定の効果が顕在化することを念頭に、再生可能エネルギーの導入促進・普及に向けて、力強くスタートを切るためのビジョンとします。

持続可能なエネルギーを「創る」
～ 景観との調和 ～
再生可能エネルギー

使うエネルギーを「減らす」
～ できることから ～
省エネルギー

エネルギー構造の転換に挑戦し、
**カーボンニュートラル
の実現を目指す**

松江市再生可能エネルギービジョン

基本方針1

市民の理解促進と 一般家庭への導入促進

情報発信や学習機会の充実化を図り、市民の皆様が再生可能エネルギーに取り組む意識を高めます

【取組内容】



- 情報発信の充実
- 学習機会の充実
- 一般家庭への太陽光発電設備等の導入支援

基本方針2

再生可能エネルギーを活用した 地域産業の活性化

事業者を対象とした支援を充実・強化し、再生可能エネルギーに取り組む事業者を増やします

- 事業所への太陽光発電設備等の導入支援
- 再生可能エネルギー関連事業の費用負担に関する支援
- 情報発信・相談体制の充実
- 学習機会の充実

基本方針3

本市が有するポテンシャル・ 再生可能エネルギー資源の有効活用

建物・土地・自然資源などを有効活用し、持続可能な再生可能エネルギーの導入を目指します

〈太陽光発電の導入促進〉

- 一般家庭・事業所への太陽光発電設備等の導入支援(再掲)
- 公共施設等への太陽光発電設備の導入促進(PPA事業)
- 太陽光パネルの設置箇所の検討
- 太陽光パネルのリユースの推進

〈風力・水力・地熱・バイオマス資源の有効活用〉

- 風力発電の導入検討
- 水力発電の導入検討
- 地熱資源の有効活用
- バイオマス発電の安定稼働
- 水草・林地残材の有効活用方法の検討

〈将来を見据えた、新たなエネルギー源の活用検討〉

- 水素・燃料アンモニア・海洋エネルギー(潮力・波力)の活用検討

基本方針4

地域振興・観光振興・防災力の 向上

再生可能エネルギーの導入・普及に合わせて、地域振興、観光振興、防災力の向上を目指します

- 地域振興
- 観光振興
- 防災力の向上

基本方針5

市民・地域・事業者・各種団体・ 行政の連携

本市に関わるすべての人が連携、協力しながら、脱炭素社会の実現を目指します

- カーボンニュートラルに関する連携協定
- 市民向け・企業向けセミナーの開催
- 異業種間交流の検討

松江市 / 再生可能エネルギービジョン



2050年
温室効果ガス
排出量
実質ゼロへ

松江市の再生可能

再生可能エネルギーの取り組みを広げること

日本海

太陽光パネルの リユース



廃棄されるパネル

市所有の未利用地
などへの設置



太陽光発電・蓄電池

本市特有の歴史的な建物・まちなみや景観に配慮したうえで太陽光パネルの設置を行います。将来的には、太陽光によって発電した電力を市内全域に供給できるようPPA事業や蓄電池の導入を進めることに加えて、地元企業と連携して太陽光パネルをリユースする仕組みをつくります。



風力発電

発電に適した風況が確認されている地域への導入を検討します。



宍道湖

新たなエネルギー源 の活用検討

水素・燃料アンモニア・ 海洋エネルギー(潮力・波力) の活用を検討

将来的に活用が期待される新たなエネルギー源の導入可能性を検討します。

地熱資源の 有効活用

バイナリー発電の導入に加えて、農作物の加温栽培や水産物の養殖などに熱利用することでエネルギーを無駄なく活用し、温泉利用と合わせて有効な地域資源とすることを目指しています。



水力発電

乃白ポンプ場と忌部浄水場での小水力発電を継続して行います。また、水路などへの小型発電設備の設置に向けた検討を行います。

再生可能エネルギー構想

再生可能エネルギー、カーボンニュートラルの実現を目指します。

バイオマス発電

木質・廃棄物・下水汚泥を燃料としたバイオマス発電を安定して稼働できるよう、民間事業者と行政が連携して取り組んでいきます。また、水草や林地残材など、市内にある自然資源をバイオマス燃料として活用するための研究を進めます。



自然資源の有効活用

バイオマス燃料としての活用



水草



林地残材

市民の理解促進

情報発信・学習機会を充実

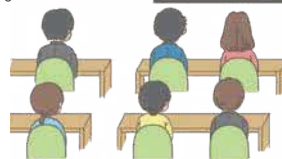
市民の皆様に興味を持っていただけるよう、写真・図・マンガなどを用いた分かりやすい情報を発信します。また、地域団体や民間事業者、学校などと連携し、様々な学習機会を設けることで、再生可能エネルギーについての理解促進を目指します。



地域産業の活性化

事業者への支援を充実・強化

再生可能エネルギーに取り組む事業者を増やすために、事業費を対象とした助成制度や情報発信、相談体制などの充実・強化を図ります。発電量の増加だけでなく、観光をはじめとした地域産業の活性化にもつなげていきます。



相談窓口

再生可能エネルギーは
いろいろあるね。
私たちも将来のために
出来ることから
始めよう！

